石川県七尾美術館だより

平成１９年４月１日発行
編集・発行　石川県七尾美術館

第４９号（春号）

「長谷川等伯展 ～最晩年の名作～」より

重要文化財
「商山四皓図襖」（部分）
長谷川等伯　天文８年～慶長15年（1539～1610）
慶長７年（1602）
各縦183.0×横142.5（cm）
京都市・天授庵蔵

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

展覧会紹介

平成19年4月28日（土）～
6月24日（日）
休館日については裏表紙をご覧ください

平成19年度春季特別展
「長谷川等伯展 ～最晩年の名作～」
4月28日（土）～5月27日（日）
［会期中無休］

◇ 第一・第二展示室

当館の主要テーマとして開催してきました「長谷川等伯展」も今回で十二回目となりました。本展は等伯の作品を若い頃より年代順に紹介していく事を基本として、平成八年に第一回展「能登から京へ」で「信春」と名乗っていた能登時代の若年期作品など十二点を展示したのを皮切りに、これまで多くの名品を紹介してきました。

そして、今年はいよいよ等伯の生涯終焉となる最晩年、六十～七十歳代の作品を、重要文化財四点を中心に展示いたします。

また、その画業の幅広さを改めて知って頂く意味で、二十～四十歳代の「信春」時代の作品や「長谷川派」と呼ばれる等伯一門の作品も併せ、計十七点を紹介します。最晩年期の作品と比較しながら鑑賞するのも一興でしょう。

等伯は「老年となっても筆力は衰えず、その豪気な様子は及ぶ者がいなかった」といわれ、最晩年に至っても多くの作品を精力的に描き続けたとされます。ぜひこの機会に等伯の生涯最後を飾った作品をご高覧下さい。

今回の出品作より、主な作品を簡単に紹介しましょう。

重文「禅宗祖師図襖」（部分）
長谷川等伯筆　天授庵蔵

◆水墨画の新たなる挑戦
…「商山四皓図襖」
…「禅宗祖師図襖」（京都市・天授庵蔵）

等伯は中国の画家・牧谿に憧れ、その影響を思わせる作品を多く制作しています。昨年展示しました「枯木猿猴図」（龍泉庵蔵）もその代表ですが、画論『等伯画説』（本法寺蔵）でも牧谿の事を絶賛しており、その傾倒の程が窺われます。

ところが、最晩年の等伯は牧谿の様式から大きく離れた水墨画、つまり牧谿の湿潤な柔らかい筆使いから、本作に見られるような、強い調子の硬い線描に変化します。この事については、老齢からくる画技の変化であるとする意見がある一方で、これは中国の「浙派」という画派の画法を再学習した表れである、という考えもあります。

もし後者であるならば、六十歳を過ぎた等伯の「新たなる挑戦」となり、絵に対する貪欲なまでの執念には敬服する思いです。

◆親交が生んだ名画
…「日通上人像」（京都市・本法寺蔵）

等伯は肖像画でも優れた力量を発揮し、数多く制作しています。「武田信玄像」（成慶院蔵）や「利休居士像」（不審庵蔵）などは著名ですが、本作も代表作の一点です。

日通上人は本法寺第十世住職で、等伯とは深い親交を結んでいました。それは『等伯画説』が上人により、等伯の芸術論を筆記されたものである事にも表れています。その日通上人が等伯七十歳の時に亡くなりました。老境を迎えていた等伯にとって、永年の友であった上人の死は耐え難いものであったでしょう。

描かれた上人の静かに合掌する姿はとても穏やかですが、それが逆に、等伯の落胆ぶりを如実に表しているようにも思えます。本作は等伯と日通上人の深い親交を今に伝えています。

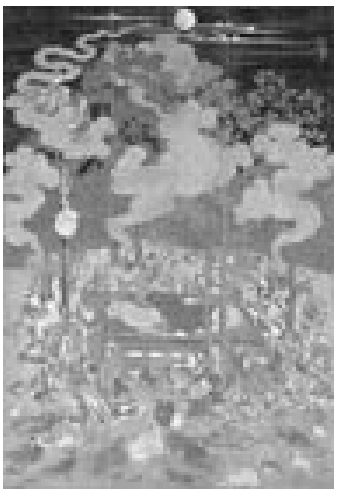
重文「日通上人像」
長谷川等伯筆　本法寺蔵

◆作者は等伯の祖父？
…「涅槃図」（七尾市・長壽寺蔵）

等伯の養父道浄は、染物業を生業とし絵にも優れていたとされます。それは等伯が『等伯画説』の中で、自らの系譜として「雪舟―等春―無文―道浄―等伯」と述べている事にも表れていますが、現時点では道浄の作品は一点も確認されていません。更に道浄の上に記されている「無文」という人物についても、等伯の祖父ではないかと考えられるのみで、これまでは作品はおろか記録も皆無

でした。つまり等伯を育んだ人々については、殆ど分からない状態であった訳です。

ところが最近、松原茂氏によって本作に捺された印章が「無分」である事が判明し、これにより無文が作者ではないかという可能性が出てきました。もしそうだとすれば、等伯の祖父とされる人物の作品が初めて発見される訳で、画期的な事です。等伯のナゾの一つを解明するカギとして、本作は新たに注目される貴重な存在です。



市文「涅槃図」
長谷川派（無分）筆　長壽寺蔵

〈出品作品一覧〉

※◎…重要文化財、□…石川県指定文化財
△…市町村指定文化財です。
※作品九は前期展示（4／28～5／12）、十は後期展示（5／13～5／27）で展示替えを行います。

一．□「十二天図」　一面(三面内)　長谷川信春(等伯)筆　羽咋市・正覚院蔵
二．△「日蓮聖人像」　一幅　長谷川信春(等伯)筆　七尾市・實相寺蔵
三．□「善女龍王図」　一幅　長谷川信春(等伯)筆　石川県七尾美術館蔵
四．□「愛宕権現図」　一幅　長谷川信春(等伯)筆　石川県七尾美術館蔵
五．□「十六羅漢図」　二幅(八幅内)　長谷川信春(等伯)筆　七尾市・霊泉寺蔵
六．□「達　磨　図」　一幅　長谷川信春(等伯)筆　七尾市・龍門寺蔵
七．□「陳希夷睡図」　一幅　長谷川信春(等伯)筆　石川県七尾美術館蔵
八．◎「妙法尼寿像」　一幅　長谷川等伯筆　京都市・本法寺蔵
九．◎「商山四皓図襖」　四面(八面内)　長谷川等伯筆　京都市・天授庵蔵
十．◎「禅宗祖師図襖」　四面(十六面内)　長谷川等伯筆　京都市・天授庵蔵
十一．◎「日通上人像」　一幅　長谷川等伯筆　京都市・本法寺蔵
十二．「十六羅漢図屏風」　六曲一双　長谷川等伯筆　京都市・智積院蔵
十三．△「黄初平図」　三幅　長谷川等伯筆　大阪市・久本寺蔵
十四．「波龍図屏風」　六曲一隻　伝長谷川等伯筆　京都市・本法寺蔵
十五．「柳橋水車図屏風」　六曲一双　長谷川派筆　京都国立博物館蔵
十六．△「涅　槃　図」　一幅　長谷川派(無分)筆　七尾市・長壽寺蔵
十七．△「白描涅槃図」　一幅　長谷川等誉筆　七尾市・成蓮寺蔵

重文「妙法尼寿像」
長谷川等伯筆　本法寺蔵

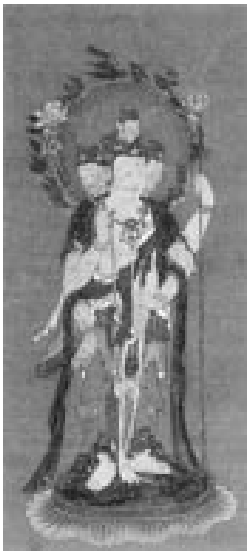
〈「長谷川等伯展」関連行事案内〉

①「長谷川等伯展」特別講演会（聴講無料）
日　時…5月6日（日）　午後2時～
会　場…当館アートホール
講　師…宮島新一氏(元九州国立博物館副館長)
演　題…「最晩年の長谷川等伯」

②「長谷川等伯」子どもなんでもクイズ
本展会期中、恒例の「子どもなんでもクイズ」を実施します。全問正解者の中から抽選で素敵な当館グッズをプレゼントします。

③「長谷川等伯」オリジナルハイビジョン
等伯の作品をほぼ年代順に紹介した五本の静止画番組と、歴史的流れの中で等伯の生涯を紹介した動画番組一本を、随時ご覧いただけます。

長谷川信春（等伯）筆　正覚院蔵



県文「十二天図」（部分）

◇共通観覧料

	個人	団体
一般	700円	600円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。
※同時開催の「所蔵品展」と共通料金です。

同時開催

「所蔵品展　～自然と人々のいとなみ～」

◇　第三展示室

自然は季節の移り変わりにあわせて様々に表情を変え、春夏秋冬それぞれの恵みや試練をもたらしてきました。

そして、そこに住む人々や生き物達も自然のなりゆきに時には身をまかせ、また時には抗いながら、共に生命活動を行ってきました。

自然の厳しさ、又はやさしさをたたえた様子や、その中で力強く営みを続ける生命の生きざまは人々の感性を魅了し、古くより様々な美術工芸品に表現されてきました。

本展では、当館所蔵品及び寄託品より、自然や動物、人々のくらしなどが表現された絵画や工芸品などを紹介します。

「朔風能登」水道秋聖

「農婦」八野田　博

「織部楼閣山水画角透鉢」

※本展は「長谷川等伯展」と共通料金です。

「第63回現代美術展　七尾展」

6月1日（金）～24日（日）

◇　第一・第二・第三展示室

昨年、石川の美術界に嬉しいニュースが届きました。漆芸家の小森邦衛氏（輪島市在住）が髹漆で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定され、洋画家の村田省蔵氏（金沢市出身・神奈川県在住）が日本芸術院会員に就任されたのです。

毎年四月に石川県立美術館と金沢21世紀美術館を会場に開催される「現代美術展」は、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門において、前述の両氏を含む県内在住の文化功労者や日本芸術院会員、人間国宝を筆頭とする作家作品をはじめ、作家活動を始めたばかりの新進気鋭の作家まで、幅広い層から出品されます。展示は出品委嘱作家に、入選率五〇パーセントという厳しい審査を経た作品を加えた、約千点にもおよぶという県下で最大規模を誇る公募展です。

第一回展は、戦後間もない昭和二十年十月に「美術文化の向上による新日本建設への寄与」をスローガンとし開催されました。以後、毎年継続され今回で六十三回目となります。

昨年の展覧会の様子

七尾展は昭和二十一年六月の第二回展が開催された後は、平成七年四月の当美術館開館を機に、毎年「現代美術展」の地方展という形で開催され、今年で十四回目を迎えます。

今年も「第63回現代美術展」出品作品の中から、財団法人石川県美術文化協会役員の作品、能登地区在住および出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品、能登地区（宝達志水町以北）在住者の作品を選抜し、約二百点を展示予定です。

昨年の展覧会の様子

所属会派を超えて出品される作品を一堂に鑑賞することができ、現在の石川県における美術の流れを展観する絶好の機会といえる展覧会です。

主催（予定）　七尾市、財団法人七尾美術館、財団法人石川県美術文化協会、北國新聞社、テレビ金沢、ラジオななお

後援（予定）　能登地区各教育委員会

◇観覧料

	個人	団体
一般	500円	400円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。

定期ビデオ上映会年間予定

毎回午前11時～（上映時間約30分）

一年を通して、「シリーズ　北陸の工芸作家　石川の匠たち」のビデオを上映します。

石川県内の文化功労者、芸術院会員、人間国宝らにスポットをあて、作者本人へのインタビューを交え、その人と技・作品を紹介します。

※都合により、上映作品を変更することがございますが、ご了承ください。

「シリーズ　北陸の工芸作家　石川の匠たち」

5／5(土)　極光　人間国宝　寺井　直次
6／9(土)　土火への祈り　大樋焼十代　大樋長左衛門
7／7(土)　光彩　日本芸術院会員　三谷　吾一
8／11(土)　邂逅　人間国宝　隅谷　正峯
9／29(土)　輝彫　人間国宝　中川　衛
12／22(土)　釉下燦々　人間国宝　吉田　美統
2／16(土)　煌めき　人間国宝　前　史雄

アートホール催し物案内

吉村美穂★イースター☆コンサート
～奇蹟の贈り物２～

4月8日（日）
開演　午後2時30分

昨年末のクリスマスコンサートで絶賛され、もう一度観たい、聴きたいというリクエストにお応えする形で決まった吉村美穂さんのコンサートです。美しい歌声に癒され、元気を出して下さい。

入場料　無料（完全予約制）
主　催　謝朗夢コンサート制作委員会（ＳＣＳＩ＝スガジィ）
連絡先　パソコンホームドクターＫＧＭ
℡０７６７（57）２８５１
※ＦＡＸで、２人以上の団体で申し込んで下さい。

第28回　等伯会定期総会＆等伯まつり

4月27日（金）
開演　総会　午後1時
セレモニー　午後1時30分

定期総会
前年度の報告と今年度の事業計画・予算などについて協議します。

等伯顕彰セレモニー
箏、尺八の演奏・献茶・献歌献句・コーラス等。

入場料　無料
主催・連絡先　等伯会（石川県七尾美術館内）
℡０７６７（53）１５００

ちょっと一息　クイズに挑戦！

ハガキにクイズの答え（マスを埋めてA～Eにあてはまる文字）、郵便番号、住所、氏名、年齢、会員番号をご記入のうえ、「美術館だより」への感想・希望を添えて左記の宛先に送ってください。正解者の中から抽選で10名様にステキなプレゼントを差し上げます。（当選者へは直接連絡します）

友の会会員以外の方も応募できます！

◆応募先◆　〒九二六－〇八五五
石川県七尾市小丸山台一丁目一番地
石川県七尾美術館　クイズに挑戦係まで

※応募締切は5月27日(日)必着。
※正解は次号美術館だよりに掲載します。
※応募に関する個人情報は当選者への連絡以外に使用しません。

◇答えのヒント◇　ある人物の名前です。今号の「美術館だより」２ページを参考にしてください。

タテのカギ

①カラーコピーで作った人もいたそうです
②鉛筆の○○
③時間が○○○する
④柔道、珠算の上達度をしめします
⑤今ではあまり見かけませんが、数える単位は〝ひょう〟です
⑥「あばれ祭り」で有名な鳳珠郡能登町字○○○
⑭枯葉を燃やして…
⑪○○○頭蛇尾
⑫いつまでもこう言われたいですね
⑮「神様、仏様、○○○様」と呼ばれたプロ野球の名投手
⑯「にくづき」に「かなめ」と書いて⑰ペンは○○よりも強し

ヨコのカギ

①逆の方角は東
④飲酒運転防止には有効なサービス
⑦○○○○の明がある
⑧わっぱ○○、五目○○
⑨幽体○○○
⑩お立ちのまま乗車の場合は、これにおつかまりください
⑬当館喫茶室は○○○○の場として、多くの方に利用されています
⑯不況と反対の意味
⑱○○○テープに録画する

①	② A		④		⑤	⑥
⑦		③	B		⑧	C
				⑨		
⑩	⑪		⑫			
	D		⑬	⑭		⑮
⑯		⑰				
		E		⑱		

答え　A　B　C　D　E

平成19年度　友の会事業カレンダー

今年度の会員証

2007 4月　●美術館だより（49号）春号発行

○4月27日（金）「長谷川等伯展　～最晩年の名作～」
開会式へ友の会会員をご招待！
式典終了後には展覧会の鑑賞（無料）もできます。

◆会期初めに友の会会員対象の列品解説を開催。（※）

7月　●美術館だより（50号）夏号発行

9月　◇「石川の歴史と文化再発見　茶の湯の美術」展特別鑑賞会を開催。
嶋崎丞館長による友の会会員限定の特別鑑賞会です。（※）

10月　●美術館だより（51号）秋号発行

◎「第 8 回友の会鑑賞の旅」を秋（10～11月）に開催予定。
当館開催の「茶の湯の美術」展にちなんで京都方面へ。詳しくは 7 月発行の「美術館だより」で。

11月　○11月 9 日（金）「2007イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式へ友の会会員をご招待！
式典終了後には展覧会の鑑賞（無料）もできます。

2008 1月　●美術館だより（52号）冬号発行

2月　○友の会美術講座を開催予定。「パステル画講座」を予定しています。

注：（※）印の催しは会員本人と同伴者 2 名まで参加できます。

友の会美術講座　開催報告

茶話会が合評会に…！

ポイントは「光」と「影」だそう…

☆「石膏デッサン一日講座」を開催☆

平成十九年二月十八日（日）晴れ

昨年に引続き二回目となる本講座には、定員を上回る十二名が参加。講師のレクチャー後、石膏のビーナス像を前に、参加者の方々は黙々とデッサンに取り組んでいました。途中、講師が休憩を促すも誰一人として中座することなく素晴らしい作品を仕上げていました。今回、実技講座の後にはティールームにてコーヒー、ケーキを楽しみながら講師をかこんでの茶話会もありました。二時間みっちり集中した後のコーヒーの味は格別だったことと思います。

参加者アンケートでは「美大生になった気分♪」「ストレス解消になった」「楽しく時間が過ぎた」などのご好評をいただくことができました。

鑑賞眼にさらに磨きがかかりました

色彩がより鮮やかに感じられます

★「美術品取り扱い講座」を開催★

平成十九年三月四日（日）晴れ

一昨年の『軸取り扱い講座』に続いて二回目となる本講座は、申し込み先着十名の参加者を得て開催されました。

まずは第三展示室内の特設会場にて、展示ケース越しではなく、間近に所蔵作品を観ながら鑑賞のポイント（作品をはじめ箱の見方、伝来など）や作品の取り扱いの方法を教わりました。その後『春の名品展～茶道具に親しむ～』開催中の展示室を学芸員の案内により見学。

開催日はちょうど桃の節句の頃。講座終了後は、喫茶室でゆったりと、桜餅とお抹茶のセットで「ほっ」と一息。終始なごやかな雰囲気につつまれて終了した今回の講座でした。参加者からは「初心者にもよく解って良かった」「勉強になった」などのお声をいただきました。

平成十八年度 新収蔵品紹介

①日本画「帰らない日」加戸ひとみ
平成二年（一九九〇）制作
第46回現代美術展最高賞受賞
※加戸ひとみ氏より寄附

②日本画「家族の食卓」加戸ひとみ
平成五年（一九九三）制作
第45回京展紅賞受賞
※加戸ひとみ氏より寄附

③日本画「中世の民家」古澤洋子
平成十年（一九九八）制作
第54回現代美術展委嘱賞受賞
※古澤洋子氏より寄附

④日本画「屋根」古澤洋子
平成十一年（一九九九）制作
第31回日展出品
※古澤洋子氏より寄附

①

③

⑧

⑤陶磁器「緑釉勝ち犬壺」十代大樋長左衛門
平成十八年（二〇〇六）制作
第62回現代美術展出品
※十代大樋長左衛門氏より寄附

⑥染織「海―幻影」谷野吉冬
平成六年（一九九四）制作
第26回日展出品
※谷野吉冬氏、高島誠氏、前田志朗氏より寄附

⑦染織「早春風」谷野吉冬
平成十五年（二〇〇三）制作
第35回日展出品
※全国石川県人会連合会より寄附

⑧写真「大漁の宴」山形明生
平成十八年（二〇〇六）制作
第62回現代美術展最高賞受賞
※山形明生氏より寄附

⑤

⑥

能登演劇堂公演情報

仲代圭吾・行代美都・仲代達矢シャンソンコンサート

黒い壁面に染み入るシャンソンの歌声。清らかに奏でられるピアノとチェロの音色が響き渡り・・・
能登演劇堂ならではの演出にご期待ください!!

開　演　4／7（土）
16：00～
入場料　3，000円
※金沢・七尾・和倉温泉駅より直行バス運行（要予約）
※近くの飲食店では限定メニューでのお楽しみも!!

仲代達矢・無名塾『ドン・キホーテ』公演
9／28～10／11上演　好評予約受付中!!

お問合せ　☎　0767(66)2323

石川県能登島ガラス美術館の展覧会情報

能登島ガラスコレクションテーマ展
「見てみよう!ガラスのなかを・・・」

ガラスの中に何かを埋め込んだり、封じ込ませたユニークな現代ガラス作品を紹介。ガラスの中にある世界を覗いてみませんか。
そのほかピカソやジャン・コクトー、ダリがデザインしたガラスのオブジェも必見!

「銀河Ⅴ」伊藤賢治 1989年

会　期　開催中～6／18（月）まで
休館日　4／17(火)、18（水）、5／15（火）
開館時間　9：00～17：00（入館は30分前まで）
体　験
ビーズアクセサリー　4／28(土)、29(日)、30(月・祝)
おし花のガラスタイル　5／19(土)、20(日)
スノードーム　6／16(土)、17(日)
お問合せ　☎　0767(84)1175

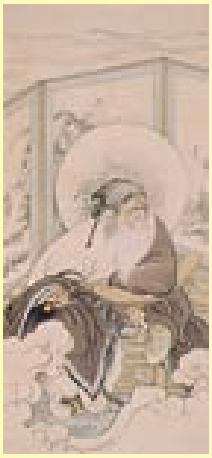
これからの展覧会予定

平成19年6月30日（土）～7月29日（日）

◆第１展示室

近現代日本画と彫刻に親しむ

～ 池田ｺﾚｸｼｮﾝを中心に ～



当館所蔵品の中核「池田コレクション」を中心に、狩野芳崖・菱田春草・川合玉堂・高村光雲・平櫛田中などの優品約30点を展示します。写実による風景から仏の世界まで、様々な表現をお楽しみください。

「維摩居士図」狩野芳崖

◆第２展示室

画業40周年

洋画家 中村静勇の世界 ～ 幻想の物語 ～

七尾市出身で第一美術展や海外でも活躍する氏は、今年画業40周年を迎えます。それを記念して、本展では人間の意識や内面性を幻想的に表現した作品約25点を紹介します。

「Melancholy」中村静勇 作家蔵

◆第１・２展示室　特別展「石川の歴史と文化再発見」

石川県立歴史博物館共催事業

（前期）「武士（もののふ）の装い　～石川県立歴史博物館所蔵の名品を中心に～」

平成19年8月４日（土）～ 9月17日（月・祝）

石川県立美術館共催事業

（後期）「茶の湯の美術　～石川県立美術館所蔵の名品を中心に～」

平成19年9月22日（土）～10月28日（日）

石川県内に所蔵される様々な優れた作品を２テーマで紹介する特別展です。前期は「武士の装い」として、石川県立歴史博物館所蔵の加賀藩ゆかりの史料を中心に、甲冑・刀剣などの武具類や、肖像画や合戦図といった絵画・図鑑などを紹介します。

後期は「茶の湯の美術」として、石川県立美術館が所蔵する名品を中心に、「池田コレクション」など当館所蔵品を加えて、加賀前田家伝来の作品や美濃焼など様々な茶道美術品を紹介します。

県文「黒韋肩紅白糸威腹巻」
石川県立歴史博物館蔵

重文「色絵梅花図平水指」
野々村仁清　石川県立美術館蔵

交通案内

飛行機……能登空港より能登有料道路利用約45分
車……金沢より能登有料道路利用約１時間20分
タクシー…JR七尾駅より約５分
徒歩……JR七尾駅より約20分
市内循環バス（まりん号）…JR七尾駅より西回りに乗車約６分
ななおコミュニティバス（ぐるっと7セブン）…JR七尾駅より西コースに乗車約10分

休館日のお知らせ

（4月～6月）

◆4月　2、9、16、23～27
◆5月　28～31
◆6月　4、11、18、25～29

◎次号・第50号（夏号）は７月１日発行予定です。

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台１丁目１番地
TEL（0767）53-1500／FAX（0767）53-6262
http://www.city.nanao.lg.jp/nanabi/